

選 択 問 題 紙

経済学部 1・2 部

経営学部 1・2 部（経営学科）

2023 年 2 月 10 日

10：00 ～ 11：00（60分）

注 意 事 項

— 注意事項は裏表紙にもある。問題紙を裏返して必ず読むこと。 —

1. 解答用紙は問題紙の中に折り込まれている。

受験する学部（1・2部の区別を含む）に該当する問題のページと解答用紙の色を下表で確認すること。

選択問題	ページ	解答用紙
日 本 史 B	2 ～ 9	水 色
世 界 史 B	10 ～ 15	緑 色
地 理 B	16 ～ 26	紫 色
政 治・経 済	28 ～ 34	桃 色
数学（経済学部 1 部・経営学部 1 部）	36 ～ 40	黄 色
数学（経済学部 2 部・経営学部 2 部）	36 ～ 38	灰 色

2. 解答用紙は 1 枚だけ提出すること。2 枚以上提出した場合にはすべて無効となる。

3. 解答はすべて解答用紙の指定された欄に記入すること。

4. 試験開始の合図があるまで問題紙を開いてはいけない。

試験終了まで退室してはいけない。

5. 受験番号の記入については裏表紙を参照すること。

— 以下は数学を選択する受験者のみに関する注意である。 —

6. 数学の解答用紙は表裏両面である。数学の解答用紙には答えだけでなく、導出の過程も記入すること。

1 部受験者は問題 **1**，**2** が必須で、問題 **3**，**4**，**5** については、これらの中から 1 問を選択し、解答用紙の ☐ の中に選択した問題の番号を記入すること。

2 部受験者は問題 **1**，**2**，**3** の全問が必須である。

世界史 B

1

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

現在のインドやその周辺では、前1000年ごろからアーリヤ人がガンジス川流域に進出し、鉄器の使用とともに開発を進めて広大な稲作地帯を形成していった。それにつれて社会の階層化が進行し、ヴァルナとよばれる身分制度ができていった。^(a)ヴァルナの最上位に位置する司祭階層である（ 1 ）が執行する祭式を中心とする宗教は（ 1 ）教とよばれ、その聖典の宗教的文献にちなみ、前1500年から前600年頃までの時代はヴェーダ時代ともよばれる。

前6世紀までにはガンジス川中流域を中心に巨大な都市がいくつも生まれ、遠隔地交易が発展するとともに金属貨幣や文字の使用も行われるようになった。さらにこれらの都市を拠点とする諸国家が急速に成長し、とくに（ 2 ）国やコーサラ国が勢力をのびた。都市は人・もの・情報の流れの結節点となり、そこを拠点に学者や宗教家などが交流を活発化させ、それまでの祭式主義の宗教を批判しつつ、インド世界を代表する新しい哲学・思想を生み出した。^(b)

前4世紀後半には、西方からアレクサンドロスの遠征軍がインダス川流域に達したが、その直後に（ 2 ）国のチャンドラグプタが（ 3 ）朝をおこし、急速に北インド全域を支配下に入れ、第3代（ 4 ）王のときに王朝は最盛期を迎えた。^(c)前180年ごろに（ 3 ）朝が減ぶと、西北インドにはギリシア系のバクトリア、イラン系のサカ族などが次々と侵入し、その過程で1世紀後半から3世紀前半にかけてクシャーナ朝が中央アジアから北インドにいたる巨大な帝国を築いた。クシャーナ朝は、2世紀半ばの（ 5 ）王の時代が最盛期であり、中央アジアからガンジス川中流域にいたる地域を支配した。^(d)同じころ、クシャーナ朝とならんで有力であったのは、西北インドから南インドにかけての広い領域で勢力をもった（ 6 ）朝であった。

問1 文中（ 1 ）～（ 6 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、ヴァルナに関する記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. クシャトリヤはヴァルナの第2位に位置する戦士階層であり、政治・軍事の職を独占していた。
- イ. ヴァイシャはヴァルナの第3位に位置する庶民階層であり、主に商人を指す。
- ウ. 不可触民はヴァルナの最下位に位置する隷属民階層であり、上位3ヴァルナに奉仕する義務を持つ。
- エ. 4つのヴァルナにジャーティを結びつけて成立したインド独特の社会制度をカースト制度という。

問3 下線部(b)に関連して、不殺生・禁欲・苦行によって救済されることを説いたジャイナ教の開祖の名称を答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、このころにスリランカ（セイロン島）にも仏教が伝わったとされるが、スリランカからビルマ・タイに伝わった戒律の厳守を主張した仏教の一派の名称を答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、クシャーナ朝に関する記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

ア. クシャーナ朝はサンスクリット語を公用語とし、その保護下でサンスクリット文学が花開いて、詩人カーリダーサなどを輩出した。

イ. ローマ帝国と漢帝国を両端とする東西交易がさかんになり、クシャーナ朝はその中継交易でうろつた。

ウ. このころにヘレニズム文化の影響を受けて仏像がつくられるようになり、ガンダーラ美術として各地に広まっていった。

エ. プルシャプラ（現在のパキスタンのペシャワール）がクシャーナ朝の都として定められた。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

西ヨーロッパ中世はキリスト教の時代であり、人々の日常生活全般にローマ＝カトリック教会の絶大な権威がいきわたっていた。出生・結婚・臨終など人生の重要な節目に際して信徒に儀式を授けることは、教会の重要な仕事であった。世俗を離れた修行の場である修道院も、大きな文化的役割を果たした。6世紀にイタリアの（ 1 ）に開かれたベネディクト修道会^(a)は、清貧・純血・服従の厳しい戒律を修道士に課した。その生活原則の標語である「（ 2 ）」のモットーは、生産労働を奴隷の仕事と考えていた古典古代以来の労働観を大きく変えた。このほか著名な修道会として11世紀末にフランスのブルゴーニュ地方に創設された（ 3 ）修道会や13世紀に創建されたドミニコ会やフランチェスコ会^(b)がある。

このような中世にあっては、学問もまたキリスト教の支配下にあった。（ 4 ）が最高の学問とされ、哲学はその下におかれた。当時の学者・知識人とは聖職者や修道士であり、彼らは学問の国際的共通語である（ 5 ）語を用いていた。

十字軍をきっかけに東方との交流が盛んになる12世紀には、ビザンツ帝国やイスラーム圏からもたらされたギリシアの古典が、ギリシア語やアラビア語から本格的に（ 5 ）語に翻訳されるようになり、それに刺激されて学問や文芸も大いに発展した。これを12世紀ルネサンスという。信仰を論理的に体系化しようとして発展してきたスコラ学^(c)は、（ A ）哲学の影響を受けて壮大な体系となり、（ 6 ）により大成されて教皇権の理論的支柱となった。^(d)

大学が誕生するのも12世紀頃からである。それまで教育と学問の中心は田園地帯の修道院にあったが、商業の発達とともに都市の大学に移った。大学は教会付属学校を母体に、教授や学生の組合としてできたのが始まりで、教皇や皇帝の特許状によって自治権を与えられた一種の（ 7 ）であった。おもな大学には（ 4 ）・法学・医学の3学部があり、また基礎的な教養科目として「自由（ 8 ）科」も教育された。最古の大学といわれるイタリアの（ 9 ）大学は法学で、またパリ大学は（ 4 ）でそれぞれ有名であった。イギリスではパリ大学を模範として創設された（ 10 ）大学と、そこからわかれてできたケンブリッジ大学が発展した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。ただし、（ 8 ）には数字があてはまる。

問2 文中の空欄（ A ）には人物名があてはまるが、その人物は経験と観察を重んじ、自然・人文・社会のあらゆる方面において思索を及ぼしたため「万学の祖」と呼ばれる。これは誰か答えよ。

問3 下線部(a)に関連して、修道院が果たした歴史的役割についての記述として誤っているものを、次のア～エから1つ選び、記号で答えよ。

- ア. 修道院では農業技術の発展にともなってワインなどの醸造技術も発達した。
- イ. 修道院は世俗を離れて修行することを第一と考えたため、荘園を経営することはなかった。
- ウ. 修道院は写本を頻繁に行ったので、古典文化を伝承・保存する役割を果たした。
- エ. 修道院は大開墾運動の先頭に立ったため、各地の森林が切り開かれ耕地が拡大した。

問4 下線部(b)に関連して、ドミニコ会やフランチェスコ会は清貧を重んじて財産所有を否定し、信者からの喜捨によって生活しながら都会での説教を行ったが、こうした修道会のことを何というか、漢字5字で答えよ。

問5 下線部(c)に関連して、ギリシアの古典がギリシア語やアラビア語から翻訳された活動拠点としてイベリア半島のある都市を挙げることができるが、その都市の名前を答えよ。

問6 下線部(d)に関連して、スコラ学の中心的議論として普遍論争が挙げられるが、個物を超越した普遍は存在せず、個物に付された名としてのみ存在するとする立場を何というか答えよ。

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

中国東北地方で明の支配下にあった女真（のちの満洲）は、明の支配がゆるむと、ヌルハチ（太祖）が諸部族を統一して（ 1 ）をたてた。（ 1 ）は、軍事的な社会組織である（ 2 ）を整備した。その子（ 3 ）は内モンゴルや朝鮮を制圧し、やがて国号を清と改めた。その後、明の各地で農民反乱がおり、（ 4 ）が率いる反乱軍が北京を占領して明が滅ぶと、清はその討伐を名目として中国本土に侵入し、北京を占領して都とした。第4代皇帝の（ 5 ）は、清の中国征服に協力した漢族の将軍である呉三桂^(a)がおこした反乱を鎮圧し、台湾で抵抗を続けていた勢力^(b)をほろぼして、中国全土の大規模な統一をなしとげた。ついで、シベリア東部に進出してきたロシアと（ 6 ）条約を結び、国境を定めて交易を約束した。

その後、（ 5 ）から雍正帝をへて（ 7 ）にいたる3代130年あまりが、清のもっとも栄えた時代である。清は中国を支配するにあたり、明の諸制度を引きついだが、中央官庁の要職は定員を偶数にして、満洲人と漢人を同数で用いる（ 8 ）制を行った。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 8 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)の反乱の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、明の復興運動に活躍した武将で、台湾からオランダの勢力を駆逐して占領した人物の名称を答えよ。

4

次の文章を読み、下の設問に答えよ。

西ヨーロッパでは中世末期から各国で中央集権化が進んだが、それとは逆に政治的分裂と不統一^(a)が深まっていたのがドイツ（神聖ローマ帝国）であった。国内には大小の諸侯や自由都市など、合わせて300ほどの領邦が分立するようになり、統一は困難な状況だった。15世紀以来、神聖ローマ帝国の皇帝位はほぼオーストリアを支配するハプスブルク家が世襲していた。オーストリアに次ぐドイツ第二の強国として台頭してきたのがプロイセンである。プロイセンのフリードリヒ2世は、(1)のハプスブルク家継承に異議を唱え二度の戦争を戦い、ヨーロッパの強国の地位についた。

1805年、フランス皇帝ナポレオンは（ 2 ）の戦いでオーストリア・ロシアの連合軍を破り、翌年自らの保護下に西南ドイツ諸国をあわせ（ 3 ）を結成した。これを機にオーストリア皇帝は神聖ローマ帝国皇帝の地位を放棄し、神聖ローマ帝国は消滅した。ナポレオンの失脚後、フランス革命とナポレオンによる一連の戦争の戦後処理のために開かれたのが（ 4 ）会議である。その結果、ドイツはオーストリア・プロイセン以下の35の君主国と4自由都市で構成される（ 5 ）に再編された。会議を主催したオーストリア外相（ 6 ）はヨーロッパの政治的現状維持を目指し、自由主義とナショナリズムは抑えられ、ドイツ統一は先送りされた。

1848年の3月革命時にもフランクフルト国民議会でドイツ統一が目指されたが、オーストリアのドイツ地域とバーメンを含む統一を求める（ 7 ）主義と、プロイセンを中心にオーストリアを排除した統一を求める（ 8 ）主義が対立した。ドイツ統一に大きな役割を果たしたのがプロイセン首相の（ 9 ）である。ユンカー出身の（ 9 ）は1862年に首相に任命されると、議会の反対を押し切って軍備を拡張した^(c)。1864年にはオーストリアとともにデンマークを攻め、シュレスヴィヒ・ホルシュタイン両公国を奪った。1866年には、両公国の帰属をめぐりオーストリアと戦いこれを破った。さらに1870年には、フランス皇帝（ 10 ）を挑発して普仏戦争^(d)を起こさせ、（ 10 ）を捕虜にしたうえでパリを包囲し、これに勝利した。1871年1月ヴィルヘルム1世は（ A ）でドイツ皇帝の即位式を行い、ドイツ帝国が成立した。

問1 文中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）にあてはまる人名または語句を答えよ。

問2 下線部(a)に関連して、ドイツの分裂を決定づけた、17世紀に勃発したバーメンでの新教徒の反乱をきっかけとする戦争の名称を答えよ。

問3 下線部(b)に関連して、フリードリヒ2世やオーストリアのヨーゼフ2世のように、自らが主導し上からの近代化を推し進めようとする君主を何と呼ぶか、答えよ。

問4 下線部(c)に関連して、この政策を何というか答えよ。

問5 下線部(d)に関連して、普仏戦争の講和条約でドイツがフランスから獲得した地域の名を答えよ。

問6 （ A ）に当てはまる、フランス王ルイ14世が造営した建物の名を答えよ。